

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人 鷗川慶寿会

目 次

1	社会福祉法人鷓川慶寿会総括事業報告	1
2	法人本部事業報告	2
(1)	事業経過報告	2
(2)	役員の任期満了に伴う改選	2
(3)	評議員の任期満了に伴う改選	2
(4)	職員採用及び退職者	2
(5)	職員の保有資格状況等の状況	4
(6)	理事会開催状況	5
(7)	評議員会開催状況	6
(8)	監事監査の実施状況	7
(9)	役員研修の実施状況	7
3	胆振東部鷓川慶寿苑事業報告	8
(1)	事業内容報告	8
(2)	管理職会議・運営会議開催報告	11
(3)	研修会・会議の参加状況報告	12
(4)	防災体制と危機管理体制	13
(5)	苦情処理状況と事故発生状況	14
(6)	主な施設整備状況	14
(7)	利用者の構成とその状況	14
(8)	在宅サービスの状況	16
(9)	ボランティアの受入状況	17
(10)	施設見学・実習生等の受入と福祉教育	18
4	高齢者生活交流センターひだまりの里事業報告	19
(1)	高齢者共同生活住宅こごみ荘	19
(2)	ボランティアの受入状況	21
(3)	交流広場	21
(4)	高齢者グループホームふきのとう	22

1 社会福祉法人鵜川慶寿会総括事業報告

平成26年度は特養の内部留保問題が大きく取り上げられ、一人歩きした状態で社会福祉法人の課税問題にまで発展しました。このことが最後まで影響し介護報酬は大きく減額されたことは、ご承知のとおりです。

一方、電気料金の再値上げや円安による仕入れ価格の上昇が支出増となり、収支状況が悪化してきています。無駄を如何に省くかを重要な課題とし、重点的な取り組みとして掲げた3点について検証します。

(1) 新会計基準への移行

平成25年度決算確定後に移行処理を行い、平成26年度から新会計基準による会計処理をスタートさせることが出来ました。従前の指導指針による会計手法と大きく変わる部分が多かったものの、事業区分、拠点区分及びサービス区分という新たな区分による処理、内部取引消去、リース会計処理等が必要となりました。ソフトの不具合もありましたが、ソフト会社と協議を重ね、無事決算書を作成することが出来ました。

また、外部機関による会計監査の導入については、今後社会福祉法人制度の見直しが図られることから、その動向を見極めて検討を行っていきます。

(2) 人財確保と育成

人財確保と育成を目的に「奨学金貸与規程」「職務能力向上支援規程」を制定し運用をスタートさせることができました。

「奨学金貸与規程」に基づき地元鵜川高校を平成27年3月1日に卒業し北海道介護福祉学校へ進学した者1名に対し奨学金貸与を決定しました。(貸与期間：平成27年4月1日から平成29年3月31日)卒業後は当法人の経営する施設の常勤職員として勤務することとなります。

また、「職務能力向上支援規程」に基づき認知症介護実践者研修へ2名(特養1名、グループホームふきのとう1名)派遣し、介護福祉士国家試験受験予定者6名に対し実技試験の免除が受けられる介護技術講習会の受講支援を行いました。(1名が介護福祉士国家試験に合格)

(3) 災害時の協力体制の確立

平成26年11月5日、北海道と北海道老人福祉施設協議会において災害対策基本法に規定する災害が発生した場合に、相互支援を円滑に実施するための相互支援協定が締結されました。

また、日高・胆振管内で発生した地震、津波、その他の災害時において、的確な支援を展開するために日胆地区老人福祉施設協議会に加盟する施設間における災害時応援協力協定を締結しました。

身近な胆振東部3町の5つの社会福祉法人間での災害発生時の協力体制については、平成27年度の協力協定締結を予定していましたが、上部団体等の動向を踏まえ、平成27年1月1日付協定締結を行うことが出来ました。

2 法人本部事業報告

(1) 事業経過報告

年月日	事業内容	摘要
H26.04.01	平成26年度辞令交付式(胆振東部鶴川慶寿苑)	理事長
H26.04.16	新任職員歓迎会、役職員及びボランティア合同交流会	四季の館(85名)
H26.05.14	第1回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑)	伊東、丹治
H26.05.22	平成26年度第1回評議員会、第1回理事会	産業会館第1会議室
H26.08.28	第2回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑)	伊東、丹治
H26.09.05	社会福祉法人ブロック研修(札幌)	田中、伊東、丹治、神田、光成
H26.10.29	平成26年度第2回評議員会、第2回理事会	産業会館第1会議室
H26.11.19	第3回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑)	伊東、丹治
H26.12.15	第三者委員会議	むさし
H26.12.15	第3回理事会	むさし
H27.02.17	第4回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑)	伊東、丹治
H27.02.23	平成26年度第3回評議員会、第4回理事会	産業会館3階青年研修室
H27.03.25	平成26年度第4回評議員会、第5回理事会	産業会館3階青年研修室

(2) 役員の新選任に伴う選任

辞任：平成27年 1月14日付 理事 新田富夫(同日付評議員辞任)
 就任：平成27年 2月23日付 理事 山崎満敬(同日付評議員就任)
 (任期は前任者の残任期間平成27年7月9日まで)

(3) 評議員の新選任に伴う選任

辞任：平成27年 1月14日付 評議員 新田富夫(同日付理事辞任)
 就任：平成27年 2月23日付 評議員 山崎満敬(同日付理事就任)
 (任期は前任者の残任期間平成27年12月18日まで)

(4) 採用職員及び退職者

1. 採用

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑

	年	月	日	氏名	職種(職名)	居住地	出身校・職歴等	
1	26	4	1		看護師			正
2	26	6	21		臨時職員調理員			40H
3	26	7	1		臨時職員調理師			25H
4	26	7	1		看護師			20H
5	26	9	8		介護福祉士			正

6	26	10	29		臨時介護福祉士			40H
7	27	1	7		介護福祉士			正

グループホームふきのとう

	年	月	日	氏名	職種（職名）	居住地	出身校・職歴等	
1	26	4	1		臨時介護士			40H
2	26	5	1		介護福祉士			40H
3	26	7	1		臨時介護士			40H

高齢者共同生活住宅こごみ荘

	年	月	日	氏名	職種（職名）	居住地	出身校・職歴等	
1	26	12	10		臨時管理係			

2. 退職

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	26	6	20		臨時介護福祉士	
2	26	6	20		臨時調理師	
3	26	12	31		介護福祉士	
4	26	12	31		介護福祉士	
5	27	1	20		臨時調理師	
6	27	1	31		臨時調理師	
7	27	3	31		介護福祉士	
8	27	3	31		介護福祉士	
9	27	3	31		介助員	
10	27	3	31		臨時介護福祉士	
11	27	3	31		臨時介護士	

グループホームふきのとう

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	26	5	20		臨時介護士	
2	26	10	31		臨時介護士	

高齢者共同生活住宅こごみ荘

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	27	3	31		臨時管理係	

(5) 職員の保有資格等の状況

平成27年3月31日現在

資格及び修了講習等	慶寿苑	ふきのとう	こごみ荘	計
介護福祉士	32	5		37
介護支援専門員	10	1		11
看護師	1			1
准看護師	5	1		6
理学療法士	1			1
管理栄養士	1			1
調理師	3			3
ヘルパー2級、介護職員初任者研修	5	3		8
認知症対応型サービス事業開設者研修	1			1
認知症介護実践者研修	6	3		9
認知症対応型サービス事業管理者研修	3	1		4
認知症介護リーダー研修	2	1		3
認定調査員研修	9	1		10
認定特定行為従事者（経過措置14時間研修）	18	2		20
認定特定行為従事者（50時間研修）	2			2
認知症ケア専門士	1	1		2
甲種防火管理者	7	1		8
危険物乙種4類	1			1
雇用管理責任者講習	1			1
第一種衛生管理者	1			1
第二種衛生管理者	1			1
介護福祉士実習指導者講習会	1	1		2
地域密着型外部評価調査員	1			1
介護サービス情報公表に係る調査員	1			1
普通救命講習	43	5	4	52
ふまねっと3級インストラクター講習		8		8

(6) 理事会開催状況

期日	会場	理事会	主 な 議 題
26. 05. 22	むかわ町 産業会館 第1会議室	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに施設運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・高齢者生活交流センターひだまりの里管理委託料増額について ・新たな加算の算定について ・平成25年度事業報告書並びに収支決算報告について ・監事監査報告(決算)について ・資産総額変更登記について ・新会計基準移行に係る貸借対照表の移行について ・福祉サービスに関する苦情解決システム規程の一部改正(案)について ・胆振東部鶴川慶寿苑入居検討委員会設置要綱の一部改正(案)について ・奨学金貸与規程、職務能力向上支援規程の制定(案)について ・第三者委員並びに入居検討委員の選任について ・平成26年度第1回補正予算書(案)について
26. 10. 29	むかわ町 産業会館 第1会議室	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・監事監査報告について ・上半期予算執行状況報告について ・PCB廃棄物の保管と処分について ・電気料金再値上げによる影響額について ・人事関係報告について ・平成26年度第2回補正予算書(案)について ・社会福祉法人制度見直し並びに次期介護報酬改定について
26. 12. 15	むさし	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・監事監査報告について ・PCB廃棄物の処分について ・人事関係報告について ・第三者委員会議報告について
27. 02. 23	むかわ町 産業会館 青年研修室	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任結果について(委嘱書の交付) ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・理事長専決処分報告について ・介護報酬改定(概要)について ・評議員の選任について(委嘱書の交付)

			<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度第3回補正予算書（案）について ・諸規程の一部改正（案）について ・重要事項説明書の改正（案）について ・今後の理事会の開催予定について ・社会福祉法人制度改革について
27. 03. 25	むかわ町 産業会館 青年研修室	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・人事関係報告について ・入所契約書の一部改正（案）について ・就業規則及び臨時職員就業規則の一部改正（案）について ・第三者委員の選任について ・平成26年度第4回補正予算書（案）について ・平成27年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・給与規程の一部改正（案）について

（7）評議員会開催状況

期日	会場	評議員会	主 な 議 題
26. 05. 22	むかわ町 産業会館 第1会議室	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに施設運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・高齢者生活交流センターひだまりの里管理委託料増額について ・新たな加算の算定について ・平成25年度事業報告書並びに収支決算報告について ・監事監査報告（決算）について ・資産総額変更登記について ・新会計基準移行に係る貸借対照表の移行について ・福祉サービスに関する苦情解決システム規程の一部改正（案）について ・胆振東部鶴川慶寿苑入居検討委員会設置要綱の一部改正（案）について ・奨学金貸与規程及び職務能力向上支援規程の制定(案)について ・第三者委員並びに入居検討委員の選任について ・平成26年度第1回補正予算書（案）について
26. 10. 29	むかわ町 産業会館 第1会議室	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・監事監査報告について ・上半期予算執行状況報告について ・PCB廃棄物の保管と処分について ・電気料金再値上げによる影響額について ・人事関係報告について ・平成26年度第2回補正予算書（案）について ・社会福祉法人見直し並びに次期介護報酬改定について

27. 02. 23	むかわ町 産業会館 青年研修室	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長職務代理者について並びに新田富夫氏の理事及び評議員の辞任について ・平成26年12月15日開催の第3回理事会での報告事項について ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・理事長専決処分報告について ・介護報酬改定（概要）について ・理事の選任について ・平成26年度第3回補正予算書（案）について ・諸規程の一部改正（案）について ・重要事項説明書の改正（案）について ・今後の評議員会の開催予定について ・社会福祉法人制度改革について
27. 03. 25	むかわ町 産業会館 青年研修室	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・人事関係報告について ・入所契約書の一部改正（案）について ・就業規則及び臨時職員就業規則の一部改正（案）について ・第三者委員の選任について ・平成26年度第4回補正予算書（案）について ・平成27年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・給与規程の一部改正（案）について

（8）監事監査の実施状況

期日	会場	監査	監 査 実 施 項 目
26. 05. 14	鵠川慶寿苑	第1回	定款、諸規程、役員、予算、決算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、人事管理、利用者預り金
26. 08. 28	鵠川慶寿苑	第2回	資産管理、会計経理、理事会・評議員会、利用者預り金、
26. 11. 19	鵠川慶寿苑	第3回	資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、利用者預り金、
26. 02. 17	鵠川慶寿苑	第4回	定款、会計経理、理事会・評議員会、人事管理、利用者預り金

（9）役員研修の実施状況

期日	研修内容	参加者
26. 09. 05	社会福祉法人ブロック研修（札幌）	田中、伊東、丹治
26. 12. 16～26. 12. 17	法人役員・施設長専門研修（札幌）	山口
27. 01. 29	社会福祉法人経営実務セミナー（札幌）	山口

3 胆振東部鷗川慶寿苑事業報告

平成26年度は、整備事業計画に基づき、大きな事業として新会計基準のソフトウェアの更新、換気設備の更新、建物の老朽修繕（屋上防水部分補修・建物外壁補修）を行い追加として栄養ケアマネジメント加算算定要件としての定期的な体重測定の必要性から車椅子体重計の整備、厨房トイレの改修工事を行いました。

また、予定外の老朽修繕、備品の更新として、排水管の破損による水洩れ修繕、排煙窓のオペレーター交換、非常用放送設備の更新等の必要が生じました。特に老朽修繕は、今後も増加していくことが予想されます。優先順位を考えながら計画的な器具・備品の更新と修繕が必要となります。

利用状況については、利用者の方々の重度化が更に進み、平均介護度も4.05となり、要介護度4、5の割合が約73%を超える状況となっています。また、認知症高齢者の自立度についても重度と言われるⅢa以上の方が約68%となっています。

具体的な利用実績については、特養入所で延べ27,458日となり、1日あたり75.2人、稼働率94.03%となり前年度の実績を131日上回ったものの、目標とした95%には届きませんでした。入院日数1,200日に加え、退所から入所までの期間のロス日数の増加が稼働率の低下の要因となりました。短期入所においては1,030日の利用実績となり、前年度実績を67日減少しました。特養と合わせて利用実績合計として前年度より64日の増加となり、収入的には重度化による平均介護度の上昇もあり、前年を上回りました。

一方、支出面においては、電気料金の再値上げの影響による光熱水費の増加と円安による仕入れコストの上昇がありましたが、予想外の重油価格の下落が支出減となりました。

目標としていた、利用者本位のサービス提供については新たな取組栄養マネジメントをはじめ質の高い個別ケア向上に向け取り組んで参りましたが、特に医療的ケア、認知症ケア、重度化ケア等については、体制も含め引き続き重要な課題として継続いたします。

また、社会福祉施設等における虐待行為の報道が後を絶たず、人権の尊重（身体拘束・虐待防止、プライバシー保護、言葉遣い等）として、最重点事項とし社会福祉をサービス業と捉え、「利用者＝お客様」を意識し接遇マナーの向上を図ります。

（1）事業内容報告

1. 各種会議の実施

管理職会議の開催	1回	サービス担当者会議の開催	173回
運営会議の開催	12回	調理員会議の開催	12回
全体会議の開催	12回	給食運営会議	12回
フローア・リーダー会議の開催	28回	個別訓練計画会議の開催	173回
グループ会議開催	60回	地域ケア会議への出席(役場)	24回
ケア会議の開催	12回		

2. 各委員会活動の実施

安全衛生委員会	12回	入居検討委員会	4回
研修委員会	14回	アクティビティサービス推進委員会	13回
事故・虐待・拘束防止委員会	23回	排泄・褥瘡検討委員会	13回
感染症対策委員会	14回	医療的ケア対策推進委員会	10回
広報・渉外委員会	12回	第三者委員会議	1回

3. 施設内研修の実施

(1) 施設内研修

新任職員研修	15回	10人	言葉使い（マナー）研修	6回	268人
学習研修会	12回	616人	感染症対策	3回	148人
幹部職員研修	12回	112人	介護知識、技術等研修	9回	356人
リスク・虐待予防	8回	316人	災害対応研修	3回	122人
ストレス	1回	37人	サービス自己評価	1回	50人
アクティビティー	1回	52人	介護保険制度等	5回	250人

4. 介護体制の確立と実践

(1) 利用者の理解と集団の現状分析

- ① 年齢や介護度、利用形態の把握
- ② 身体的障がいや認知症等の把握
- ③ 食事摂取に係る個別対応の連絡と把握
- ④ 利用者の行動障がいへの対応
- ⑤ クラブ活動、行事等への参加促進実施
- ⑥ 利用者の疾病等に対する対応
- ⑦ 生活習慣の個別差に対する対応
- ⑧ 認知症高齢者の日常生活自立度の把握

(2) 介護上の視点と展開

- ① 利用者と職員との日常的な関わりの充実
- ② 人権を尊重した利用者との関わり
- ③ 利用者の身体的状況の把握と疾病処置の充実
- ④ 身体拘束廃止、虐待防止へ向けた介護の取り組み
- ⑤ 事故予防、介護ミス予防の検討と取り組み
- ⑥ 生活の楽しみ、生きがいを見出せる取り組み
- ⑦ 認知症への取り組み
- ⑧ 褥瘡予防、治療への取り組み
- ⑨ 家庭復帰への援助、中途退所への援助

(3) 健康管理とリハビリ

- ① 健康管理
 - ア) 利用者の身体的状況、精神的状況の把握

- イ) 利用者の体調の変化を捉え、早期発見、早期治療を図る
- ロ) 利用者の週1回の嘱託医による回診
- エ) 体調不良時、急変時の受診と治療
- ウ) 利用者の年1回（9月）健康診断の実施
- カ) 新型インフルエンザ等感染症予防対策の実践
- キ) 口腔ケアの実施

② 業務管理

- ア) 各種検査伝票の整理と医療処置の記録、コンピューターへの入力
- イ) 医療器具・薬品の管理
- ロ) 利用者の使用している薬剤の使用法の指導と管理

③ リハビリ

- ア) 利用者の身体的残存機能の保持
- イ) 利用者の身体的状況に応じた個別訓練
- ロ) 療育音楽、ゲーム等、気分転換と身体的な機能回復と保持
- エ) 離床時を利用したリハビリの確立
- ウ) 各種クラブ活動の活用
- カ) アクティビティサービス推進委員会との連携
- キ) 健康体操、口腔体操の実施

(4) 給食の取り組み

- ① 献立作成 ～ 利用者の身体的状況、嗜好、栄養バランスに配慮し作成
- ② 特別食の献立 ～ 病弱な利用者には、健康状態にあった食事の配慮
- ③ 調理方法の工夫 ～ 歯の悪い人、嚥下障がいのある利用者についての配慮
- ④ 行事食の実施 ～ 生活に変化をつけるため、各種祝いに行事食を実施
- ⑤ お好み昼食 ～ 概ね月1回主菜、副菜に選択食を取り入れ、楽しめる食事の提供
- ⑥ 常食バイキング ～ 6月と11月の昼食時にバイキングを取り入れ楽しめる食事の提供
- ⑦ 嗜好を考慮した食事作り ～ 嗜好調査を行い献立に組み入れていく
- ⑧ 環境に配慮した食事の摂取 ～ 利用者個々のペースに合わせた食事時間の配慮、自助具の使用
- ⑨ 食堂の環境整備 ～ テーブルの配置、テーブルクロスの変化等楽しい雰囲気作り
- ⑩ 栄養マネジメント ～ 利用者ごとの栄養ケア計画に基づいた栄養管理

5. 広報活動

- (1) こんにちは 12回
- (2) はまなす通信 3回
- (3) 家族通信 12回
- (4) そよ風通信 3か月に1回

(2) 管理職会議・運営会議開催報告

1. 管理職会議開催状況

期日	協議内容
26. 11. 28	目標管理制度の集計結果について (管理職評定、賞与支給率の検討、職員意向・提案内容について)

2. 運営会議開催状況

期日	協議内容	期日	協議内容
26. 04. 04	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(社福をとりまく環境) ・5月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	26. 10. 06	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(社福への逆風と意識改革) ・一次考課担当者について ・11月の行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
26. 05. 08	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(認知症高齢者の列車事故の監督責任を考える・栄養ケアマネジメントの実施について) ・6月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	26. 11. 07	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(基準費用額の見直しについて) ・12月行事予定について ・クリスマス会について ・利用者へのプレゼントについて ・演出について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
26. 06. 05	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(地域包括ケアシステムについて) ・7月行事予定について ・盆踊り日程について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	26. 12. 05	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(感染症予防について) ・1月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・感染症対策厳戒態勢について ・給食運営会議
26. 07. 03	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(医療・介護関連一括法について) ・8月行事予定について ・盆踊りの準備と片づけについて ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	27. 01. 08	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(介護保険制度改正について) ・2月行事予定について ・サービス自己評価について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
26. 08. 05	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(特養における繰越金等取扱い等について) ・9月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	27. 02. 05	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(介護報酬改定について) ・3月行事予定について ・新年度事業計画、予算策定について ・新任職員研修について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
26. 09. 01	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(食事時間について) ・10月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	27. 03. 05	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(介護報酬改定について) ・4月行事予定について ・新年度事業計画、予算策定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議

(3) 外部研修会の参加状況報告

1. 職員の参加状況報告

番号	期間	研修内容	参加人数
1	6月7日	介護職のための“終末期ケア”徹底学習会（札幌）	2
2	6月14日～15日	介護技術講習会（苫小牧）	2
3	6月16日	ヒヤリ・ハット報告及び事故分析の基礎研修（札幌）	2
4	6月21日～22日	介護技術講習会（苫小牧）	2
5	6月24日～27日	認知症介護実践者研修（苫小牧）	1
6	6月25日～26日	介護職員専門研修Ⅰ（札幌）	1
7	6月30日	認知症介護実践者研修他施設実習（厚真）	1
8	7月4日	メンタルヘルス講習会（札幌）	1
9	7月16日～17日	日胆地区老人福祉施設研究大会（登別）	2
10	7月17日	認知症介護実践者研修（苫小牧）	1
11	7月24日～25日	新任経理・総務担当者のための基礎研修（札幌）	2
12	7月30日	特定給食施設等栄養業務担当者研修会（苫小牧）	1
13	8月7日	特定給食施設等運営管理者研修会（苫小牧）	1
14	8月7日	調理業務担当者等研修会（苫小牧）	2
15	8月9日～10日	介護技術講習会（苫小牧）	2
16	8月16日～17日	介護技術講習会（苫小牧）	2
17	9月2日～4日	介護支援専門員更新研修（札幌）	1
18	9月3日～5日	介護支援専門員専門研修Ⅱ（札幌）	1
19	9月3日～4日	メンタルヘルス研修（札幌）	1
20	9月5日	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会（札幌）	2
21	9月25日	日胆地区老人福祉施設直接処遇職員研修会	2
22	9月25日～26日	看護師専門研修（札幌）	1
23	9月29日	新会計基準研修会（札幌）	1
24	10月1日～3日	介護支援専門員更新研修（札幌）	1
25	10月4日～5日	介護技術講習会（室蘭）	2
26	10月8日～9日	家族会交流会（蘭越）	3
27	10月11日～12日	介護技術講習会（室蘭）	2
28	10月20日	高齢者虐待防止推進研修会【施設編】（札幌）	1
29	10月29日～31日	介護支援専門員専門研修Ⅰ（札幌）	1
30	10月31日	介護保険施設等に係る集団指導（苫小牧）	2
31	11月17日～18日	介護支援専門員専門研修Ⅰ（札幌）	1
32	11月18日	栄養管理研修会（苫小牧）	1
33	11月20日	第1回施設長研修会（登別）	1
34	11月22日	北海道栄養士会苫小牧支部秋季研修会（苫小牧）	1

35	12月2日～5日	介護支援専門員実務従事者基礎研修（札幌）	1
36	12月13日	自己評価研修会（高齢編）（札幌）	1
37	12月16日～17日	法人役員・施設長専門研修（札幌）	1
38	1月14日～16日	介護支援専門員実務研修（札幌）	1
39	1月15日	老人福祉施設長研究セミナー（札幌）	4
40	1月29日	社会福祉法人経営実務セミナー（札幌）	1
41	2月17日～19日	介護支援専門員実務研修（札幌）	1
42	2月26日～27日	胆振東部3町社会福祉施設等研修会（札幌）	7
43	3月25日	介護報酬改定に伴う事業者説明会（苫小牧）	2
44	3月27日	第2回施設長研修会（苫小牧）	1
			70

（４）防災体制と危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	防災器具点検	備考
4月		月1回	自主点検	
5月		月1回	自主点検	
6月	避難訓練（夜間）	月1回	自主点検	消防署立入検査
7月		月1回	自主点検	
8月		月1回	自主点検	
9月		月1回	業者点検・自主点検	ボイラー保守点検
10月	避難訓練	月1回	自主点検	
11月		月1回	自主点検	
12月		月1回	自主点検	
1月		月1回	自主点検	
2月		月1回	自主点検	ボイラー保守点検
3月	自主防災訓練	月1回	業者点検・自主点検	津波の知識について
備考	電気設備系点検		業者点検・2カ月に1回（偶数月）	
	エレベーター点検		業者点検・3カ月に1回（24H遠隔監視）	
	非常食の確保（保存水、アルファ米、味噌汁、魚缶詰等9食3日分）			
	★ 緊急対応マニュアルの作成整備と活用。 ※ 災害時は、連絡網による連絡、家族、理事長へ連絡体制をとる。 ※ 夜間の急変時等のときは、看護師、医師、施設長、家族へ連絡体制をとる。			

(5) 苦情処理状況と事故発生状況

平成26年度は、ご家族様から2件の苦情相談がありました。職員の言葉使い、家族への報告及び対応の遅れによるもので、ご家族に対し謝罪するとともに再発防止に向け、個別指導並びに職員会議のなかで改善指導を行っております。

事故発生状況につきましては、骨折事故は3件と増加し、異食・誤薬・頭部打撲が各1件発生し、胆振総合振興局社会福祉課及び保険者へ事故報告書を提出しております。

重大な事故には至っておりませんが、転倒、転落、ずり落ち、皮膚剥離、誤薬、異食等の事故及びヒヤリ・ハットが多く発生しております。これらの事例を十分に検証し再発防止を図るとともに、事故を減少させていく取り組みが引き続き課題となっております。

(6) 主な施設整備状況

整備日	整備・修繕内容	金額
H26.04	音響設備の更新	208,077
H26.04	PDAシステム入替 (I Pad miniへ移行)	151,956
H26.04	新会計基準対応ソフトの更新	105,000
H26.04	ベッドのスイッチ取替	173,502
H25.05	備蓄食糧の整備	173,339
H26.05	ソファの入替	107,692
H26.06	車椅子対応体重計	192,240
H26.06	換気扇更新工事	388,000
H26.12	非常用放送設備の更新	837,000
	合計	2,336,806

(7) 利用者の構成とその状況

1. 在籍者

男性 13名 女性 64名

平成27年3月31日現在

胆振総合振興局									
むかわ町		厚真町		安平町		苫小牧市		白老町	
64名		2名		1名		5名		1名	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
12	52	0	2	1	0	0	5	0	1

日高振興局						十勝総合振興局	
平取町		新ひだか町		日高町		幕別町	
1名		1名		1名		1名	
男	女	男	女	男	女	男	女
0	1	0	1	0	1	0	1

2. 年齢別状況

平成27年3月31日現在

区分	60～69	70～79	80～89	90～99	100以上	合計	平均年齢
男		2	10	1		13	83.9
女		9	23	30	2	64	88.2
合計		11	33	31	2	77	83.1

3. 在苑期間

平成27年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年以上	合計	平均期間
男		4	4	3	1	1	13	3年2か月
女	7	3	14	14	19	7	64	4年6か月
合計	7	7	18	17	20	8	77	4年4か月

4. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成27年3月31日現在

要介護度	なし	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
要介護1		1	1				2
要介護2			2	4			6
要介護3	1		5	5	1		12
要介護4	1		6	11	5		23
要介護5			6	17	11		34
合計	2	1	20	37	17		77

5. 月別利用者状況

平成26年4月1日～平成27年3月31日

月別	区分	入所	退所			入院 外泊	入所者数	延利用日数
			死亡退所	長期入院	家庭へ			
平成26年4月		1				83	79	2,257
5月						101	80	2,368
6月				2		137	80	2,258
7月		1		1		63	81	2,374
8月		1	2			100	81	2,342
9月		2	2			148	81	2,247
10月		2		2		109	81	2,318
11月		2	1			51	80	2,319
12月		2	1			106	79	2,340
平成27年1月		5	1	1		168	80	2,257
2月			2	1		78	79	2,079
3月		1	1			56	78	2,299
合計		17	10	7		1,200	959	27,458

一日実利用者数75.22人(94.03%)

6. 利用者の要介護度

平成27年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
要介護1	1	1	2
要介護2		6	6
要介護3	3	9	12
要介護4	6	17	23
要介護5	3	31	34
合計	13	64	77

(8) 在宅サービスの状況

1. 短期入所生活介護

平成26年4月1日～平成27年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	人数	2	2	3	4	2	3	2	3	1	1	1	4	28
	延べ日数	19	20	23	20	15	19	14	21	10	12	12	34	219
要介護2	人数	5	5	5	7	7	4	6	6	4	5	7	6	67
	延べ日数	49	43	55	71	57	53	61	64	59	59	66	62	699
要介護3	人数	1		1										2
	延べ日数	8		10										18
要介護4	人数	3	2	2	2		1	2	2	1		1		16
	延べ日数	18	10	10	11		7	11	13	7		7		94
要介護5	人数													0
	延べ日数													0
合計	人数	11	9	11	13	9	8	10	11	6	6	9	10	113
	延べ日数	94	73	98	102	72	79	86	98	76	71	85	96	1,030

2. 介護予防短期入所生活介護

平成26年4月1日～平成27年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	人数													
	延べ日数													
要支援2	人数													
	延べ日数													
合計	人数													
	延べ日数													

3. むかわ町高齢者等生活支援短期入所生活介護

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	人数													
	延べ日数													
要介護 2	人数													
	延べ日数													
要介護 3	人数													
	延べ日数													
要介護 4	人数													
	延べ日数													
要介護 5	人数													
	延べ日数													
合計	人数													
	延べ日数													

(9) ボランティアの受入状況

		団体名	活動内容	回数	人数	合計	
町内	団体	駒場町内会	防災訓練	1	10	10	
		纏保存会	出初め式纏振り	1	7	7	
		支え合い共に生きる会・個人	ふれあい喫茶	10	5～8	66	
		鵠川民謡同好会	盆踊り協力	1	1	1	
		ボランティアさつき会	盆踊り協力	1	6	6	
		鵠川慶寿苑家族会	花壇整備、盆踊り模擬店協力	2	22	22	
		カネダイ大野商店	盆踊り模擬店及び歌謡ショー	1	15	15	
		むかわ町商工会女性部	ソーメン寄贈	1	3	3	
		鵠川ライオンズクラブ	寄附金、飲物、タオル寄贈	1	5	5	
		天理教鵠川分会	窓清掃	1	11	11	
		鵠川高校吹奏楽部	吹奏楽演奏	1	13	13	
		宮戸小学校	器楽演奏等、交流	1	19	19	
		鵠川中学校3年生	窓拭き等、器楽、合唱、交流	1	46	46	
		鵠川中央小学校6年生	ボランティア学習、交流	1	15	15	
		個人	吉田紀晃氏	華道指導	11	1	11
			塚田槿子氏、柚田英美子氏	茶道指導	11	2	22
			田中ハルエ氏、佐々木チエ子氏	書道教室	19	1～2	36
			伊東八百子氏	傾聴ボランティア	11	1	11
	町外	団体	ビハーラ鵠川	彼岸法要、法話会、お参り お勤め、交流	12	1～2	16
			苫小牧歯科健康診断協会	口腔ケア	12	1～2	20

(10) 施設見学・実習生等の受入と福祉教育

将来、福祉の仕事に携わる人材を育てるために、また、施設、福祉への理解を醸成するためにも実習生の受け入れ及び介護等体験の受け入れは重要と考え当苑では積極的に取り組んで来ました。

慶寿苑においては、福祉専門学校、介護職員初任者研修における実習、更に、小、中、高校生の体験学習等その範囲は多岐に亘り、期待されるものは大きく、常に学習し対応していく必要があります。

* 専門学校等

学 校 名	学 年	期 間	受入数	合計日数	内 容

* 高校

学 校 名	学 年	期 間	受入数	合計日数	内 容
鵜川高校	2年	26.10.22~26.10.23	3名	2日	インターンシップ
鵜川高校吹奏楽部 (再掲)	1,2年	27.03.26	13名	1日	吹奏楽演奏等

* 中学校

学 校 名	学 年	期 間	受入数	合計日数	内 容
鵜川中学校(再掲)	3年	26.09.03	46名	1日	窓拭き等、交流
鵜川中学校	2年	26.10.16	5名	1日	職業体験

* 小学校

学 校 名	学 年	期 間	受入数	合計日数	内 容
宮戸小学校 (再掲)	全学年	26.10.01	19名	1日	器楽演奏等、交流
鵜川中央小学校 (再掲)	6年	26.11.17	15名	1日	ボランティア学習、交流

* その他

団体名等	地区	期 間	受入数	合計日数	内 容
鵜川地区民生児童委員協議会老人福祉部会	鵜川	26.06.11	7名	1日	施設見学
空南ビハーク	南空知	26.07.08	20名	1日	施設見学

4 高齢者生活交流センターひだまりの里事業報告

(1) 高齢者共同生活住宅こごみ荘

年々電気料金が高騰し、平成 26 年 4 月から利用料金を改定し運営してきましたが、電気料金の大幅な値上げは、オール電化施設であるこごみ荘にとって厳しい運営が続いています。

平成 26 年度の稼働率は、平成 25 年度と比較すると約 0.86%上がり、入退去に生じる空室期間（ロス期間）が少なく、収入は少し改善されました。

しかし、長期入院や電気料金の値上げにより運営は厳しく、法人本部より 500,000 円の繰入を行いました。再度の利用料金改定は見送り、新年度の動向を見ていきたいと思えます。

また、設備について、天候悪化による強風の日には、各居室やトイレの赤外線センサーが反応し、昼夜問わず電気がついてしまう不具合があります。整備には高額のコストが見込まれますので、むかわ町と協議をしながら、改善策を検討していきます。

入居者の方々においては、加齢による身体機能の低下や、認知症の症状がみられるなど、一人での生活の不自由さがみられる方もいらっしゃいます。ご家族や担当ケアマネ、むかわ町と情報の共有を図り、こごみ荘での生活の継続有無など、ご相談させていただきながら進めてまいります。

1. 年齢別状況

平成 27 年 3 月 31 日現在

区分	むかわ町	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男	5	1	4		5	84
女	15	2	9	4	15	86.2
合計	20	3	13	4	20	85.6

2. 入居期間

平成 27 年 3 月 31 日現在

区分	6 月未満	1 年未満	1～3 年	3～5 年	5 年以上	合計	平均期間
男	2		1	1	1	5	2年6か月
女	2		5	5	3	15	3年5か月
合計	4		6	6	4	20	3年5か月

3. 月別入居者状況

平成26年4月1日～平成27年3月31日

月別 区分	入居	退居			入院 外泊等	入居者数	延入居日数
		他施設	入院	家庭			
平成26年4月					45	20	555
5月					25	20	595
6月					0	20	600
7月					11	20	609
8月					29	20	591
9月			1		35	20	565
10月	1		1		21	19	554
11月	1				55	20	539
12月			1		20	20	586
平成27年1月	1	1			6	20	598
2月	1				16	20	544
3月					35	20	585
合計	4	1	3	0	298	239	6921

一日実利用者数 18.96人 (94.81%)

4. 入居者の要介護度

平成27年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
自立	2	6	8
要支援1	1	2	3
要支援2	1	4	5
要介護1	1	3	4
要介護2			
要介護3			
要介護4			
要介護5			
合計	5	15	20

5. 移動販売等

- ①船山商店 (毎週木曜日)
- ②苫小牧ヤクルト (毎週月曜日)
- ③カクサダクリーニング (毎週火曜日)

(2) ボランティア等の受入状況

日時	団体名	内容	人数
H26. 6. 11	鶴川地区民生児童委員協議会老人福祉部会	施設見学	7名
H26. 6. 24	鶴川中央小学校ボランティア委員会	折り紙で交流	10名
H26. 12. 16	鶴川中央小学校ボランティア委員会	折り紙で交流	14名
H26. 12. 25	ひまわり保育園	踊り披露	23名

(3) 交流広場

交流広場は地域の方々及び各種団体等に定期的且つ有効に活用されています。

1. 定期的利用

田浦スポーツクラブ（毎週金曜日夜間） 1回当たり10名前後

2. その他

①自治会個人（8月、9月 計6名）

②日高ベースボールクラブ（11月、1月 計78名）

(4) 高齢者グループホームふきのとう

平成 24 年 4 月 1 日より運営がスタートし、昨年度は電気料金の値上げにより、利用料金の改定を行い、安定的な運営を目指しておりましたが、入院による空室状況が経営に大きく影響しました。このような状況から、昨年度より管理委託料として、むかわ町より特段のご配慮をいただいています。

今年の介護報酬改定に伴い、平成 27 年度の利用料金体系について改定の必要が生じたことから、3 月 7 日（土）家族懇談会を開催し、ご説明させていただきました。

3 年経過し、ご家族様からの定期受診の付添が困難になってきた入居者さんの対応、日頃から思っている事等を聞き、より良いグループホームを目指し、向上を図って参ります。

普段の生活の中でコスト削減や無駄な電気等の使用を控えていきます。

また、ホーム内での転倒による骨折が 1 件発生しました。認知症高齢者の骨折は廃用症候群を招き合併症等を併発するケースが多く長期間の入院が必要となります。骨折事故を防止していくことが課題であります。

昨年度から取り入れているふまねっと運動（黒い網目を踏まないように跨いで歩く運動）では、ふまねっと 3 級インストラクター研修を全職員が受講し、地域行事の際、職員の講師依頼の要請がある時は協力し、参加出来るような形をとっております。

ホームでは、足腰の衰え、筋力低下の予防策として、定期的実施しながらリハビリ効果を高めて参ります。

定期的な研修（内部・外部研修）を通し、個々の状況に応じた認知症ケアの知識・技術の向上を図り、職員資質の向上に努めて参りました。また、認知症介護実践者研修に 1 名派遣することができました。今後も継続して参ります。

地域密着型サービス（認知症対応型共同生活）では、毎年自己評価及び外部評価を行わなければなりません。その中でも調査員から優れている点として評価された、日常的な近隣等の交流・触れ合い、自治会や地域行事の参加を今後も継続して参ります。また、入居者さんの言葉を脚色することなく、ありのままを記録に残すなど、丁寧で原則的な対応がケアに活かせる点を評価して頂きました。今年より介護計画（ケアプランに連動した）を、日々のケアの中で、確認できる仕組み作りを確立していきます。

災害対策として地域住民との協力体制の構築や同業者間との交流を図っていきながら、我が家と思われるホームを目指して一層努力していきます。

1. 在籍入居者

平成 27 年 3 月 31 日現在

区分	～69	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男			2		2	82.5
女		1	4	2	7	85.2
合計		1	6	2	9	84.6

2. 入居期間調

平成 27 年 3 月 31 日現在

区 分	1 年未満	1 年～	合計	平均期間
男		2	2	1.3
女	3	4	7	1.6
合計	3	6	9	1.5

3. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成 27 年 3 月 31 日現在

要介護度等	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
要支援 1						0
要支援 2						0
要介護 1		1	1			2
要介護 2			3			3
要介護 3			2	1		3
要介護 4			1			1
要介護 5						0
合計	0	1	7	1	0	9

4. 月別入居者状況調

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

月別	区分	入居	退居			入院 外泊	入居者数	延利用日数
			他施設 慶寿苑	入院	家庭			
平成 26 年 4 月						37	9	230
5 月						50	9	229
6 月						25	9	246
7 月						57	9	222
8 月						62	9	217
9 月		1	1			60	9	202
10 月		1		1		8	9	259
11 月						0	9	270
12 月						0	9	279
平成 27 年 1 月		1	1			2	9	277
2 月						0	9	252
3 月				1		29	9	250
合 計		3	2	2		330	108	2,933

一日実利用者数 8.03 人は (89.28%)

5. 入居者の要介護度調

平成 27 年 3 月 31 日現在

要介護度	男性	女性	計
要支援 1			0
要支援 2			0
要介護 1		2	2
要介護 2	1	2	3
要介護 3	1	2	3
要介護 4		1	1
要介護 5			
合計	2	7	9

6. 職員の資質向上

①職員会議の状況

ケア会議の開催	12回	月1回定例開催
スタッフ会議の開催	13回	月1回定例開催（事故報告・対策）

②内部研修の状況（スタッフ会議）

4月	事業計画・収支予算・職業規則・個人情報保護規定、職員倫理規程、法令遵守について	8名	10月	今年度の反省と次年度に向けて	7名
5月	リスクマネジメントについて 事故・緊急時の対応表について	7名	11月	感染症防止について ノロウイルス等の対応について 外部調査評価について 夜間想定した消防訓練の反省点について	7名
6月	食中毒について 消防訓練について 施設職員のストレスについて 職務能力向上支援規程について	6名			
7月	事故報告（事故の検証）について 身体拘束と虐待防止について 認知症介護実践者研修（職場内実習）	8名	12月	事故ヒヤリ・ハットについて	5名
8月	接遇マナーについて 自己評価と昨年の評価検証について	8名	1月	経営理念・理念唱和 平成27年度から変わること	7名
9月	管理者業務について 苦情・相談について 目標管理制度による職務調査表・人事考課について	7名	2月	第2回日胆ブロック研修 妻の病～レビー小体型認知症	6名
			3月	諸規程の改正（就業規則、退職金及び退職年金支給規程、給与規程、運営規程）について 重要事項説明書の改正について	5名

③外部研修の参加状況

番号	期間	研 修 内 容	参加人数
1	6月24日～ 27日	認知症実践者研修（苫小牧）	1名
2	7月1日	認知症介護実践者研修 他施設実習（えがおの家）	1名
3	7月17日	認知症介護実践者研修 報告会（苫小牧）	1名
4	7月23日～ 24日	介護支援専門員研修課程Ⅰ（札幌）	1名
5	7月27日	ふまねっと3級インストラクター研修（札幌）	1名
6	7月28日	介護支援専門員研修課程Ⅰ（札幌）	1名
7	8月28日～ 29日	介護支援専門員研修課程Ⅰ（札幌）	1名
8	9月14日	GH協会 実践者研究大会交流会	1名
9	9月15日	実践者研究大会（苫小牧）	1名
10	1月18日	ふまねっと3級インストラクター研修（札幌）	2名
11	2月6日	GH協会 日胆ブロック研修（苫小牧）	6名
12	2月15日	ふまねっと3級インストラクター研修（札幌）	2名
13	2月26日～ 27日	胆振東部3町研修会（札幌）	2名
14	3月15日	ふまねっと3級インストラクター研修（札幌）	2名
15	3月21日	歯科ボランティア研修（歯科ボランティア：慶寿苑）	1名
			24名

④自主研修

認知症介護実践者研修 1名

6月24日～27日（苫小牧市）

7月 1日 外部施設実習：厚真：えがおの家

7月17日（苫小牧市）

7. 健康・衛生管理

- ①利用者一人ひとりの健康状態について把握し、看護師の指示のもと疾病の早期発見・早期治療に努めてまいり、一時的に治療入院することもありましたが、元気に暮らしています。
- ②利用者、職員、来訪者に対し、手洗いやうがいの励行を周知し、様々な感染症の感染拡大防止ができました。
- ③利用者の状態に急変が生じた場合には、速やかに主治医や協力医療機関、家族に連絡を行うとともに、救急搬送等による適切な対応を行うことができました。

8. 危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	備考
4月		月1回	
5月		月1回	自主点検
6月	消防訓練（日中）	月1回（自主訓練）	消防署立入検査、業者点検
7月		月1回	
8月		月1回（自主訓練）	自主点検
9月		月1回	
10月		月1回（自主訓練）	
11月	消防訓練（夜間）	月1回	夜間を想定した訓練を日中に実施
12月		月1回	業者点検
1月		月1回（自主訓練）	消防団纏披露
2月		月1回	
3月		月1回（自主訓練）	
備考	★消防用設備防災点検（6月、12月） ★緊急対応マニュアルの作成整備と活用。 ※ 災害時は、連絡網による連絡、家族、管理者へ連絡体制をとる。 ※ 夜間の急変時等のときは、管理者、協力医療機関、家族へ連絡体制をとる。		

9. ご家族・地域との連携

①運営推進会議の開催状況

期日	協議内容
26. 6. 7	事業所の運営状況報告、平成26年度事業計画 平成25年度事業報告並びに決算報告書について 意見・提言・連絡
26. 9. 16	ふきのとう内で敬老会（入居者、家族、運営推進会議役員）交流会 平成26年の行事や普段の様子（ふまねっと運動）を上映
26. 11. 26	平成26年度の運営状況報告 地域密着型サービス外部評価・自己評価について 第2回消防訓練実施後の反省 意見・提言・連絡
26. 12. 25	ひまわり保育所と高齢者共同住宅ごみ荘とのクリスマス交流会（ごみ荘にて） 意見・提言・連絡
27. 2. 4	ふまねっと運動を实践 節分（豆まき）意見・提言・連絡
27. 3. 24	平成26年度の運営状況報告 平成26年 苦情・相談並びに事故発生状況について 平成27年度 利用料金改定について 意見・提言・連絡

②ボランティア等来訪者の状況

	年月日	内容	適用
1	26. 6. 11	鶴川地区民生児童委員協議会老人福祉部会施設見学	7名
2	26. 6. 22	ひまわり保育園運動会見学・参加	3名
3	26. 7. 2	外部施設実習 GHえがおの家 職員実習	1名
4	26. 7. 8	鶴川高校生GH見学	3名
5	26. 10. 22	鶴川高校インターンシップ GH見学	3名
6	26. 11. 6	外部評価調査	2名
7	27. 1. 4	消防団纏	
8	27. 2. 4	GH見学（田浦両自治会長）	2名

③地域交流として（地域協力）

ふまねっと3級インストラクター研修を全職員が受講し、地域行事の際、職員の講師依頼の要請がある時は協力し、参加出来るような形をとっております。

- ・むかわ町介護予防講演会 10月29日 午前 鶴川地区 2名 午後穂別地区 1名
- ・むかわ町ボランティア連絡協議会研修会 3月7日 1名

10. 広報活動について

- ①ふきのとう通信 12回
- ②近況報告 3か月に1回

11. 相談・苦情の状況

平成26年度は、ご家族様から1件の苦情相談がありました。入退去によるお部屋の移動の件で、ご家族様に不快な思いをさせていただきました。受付担当者の段階で解決することが出来ました。職員会議にて説明、指導を行いました。

また、骨折事故は1件発生しました。高齢者の骨折は、入院期間が長期化し、廃用症候群を伴い著しいADLの低下が起こります。一方運営上においても、介護報酬が大きく減額となり経営を圧迫します。昨年度に事故防止策として、センサーマットを導入し対応しております。事故に至らなかったケースもありますが、安心、安全に暮らしていけるよう取り組んで参ります。